

栗東市 男女共同参画社会づくりに関する市民アンケート調査

結果報告（項目抜粋速報版）

1. 調査の目的

「栗東市まちづくり女（ひと）と男（ひと）の共同参画プラン（第5版）」の策定にあたり、本市における男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握し、今後の方針や施策の参考とすることを目的に、実施しました。

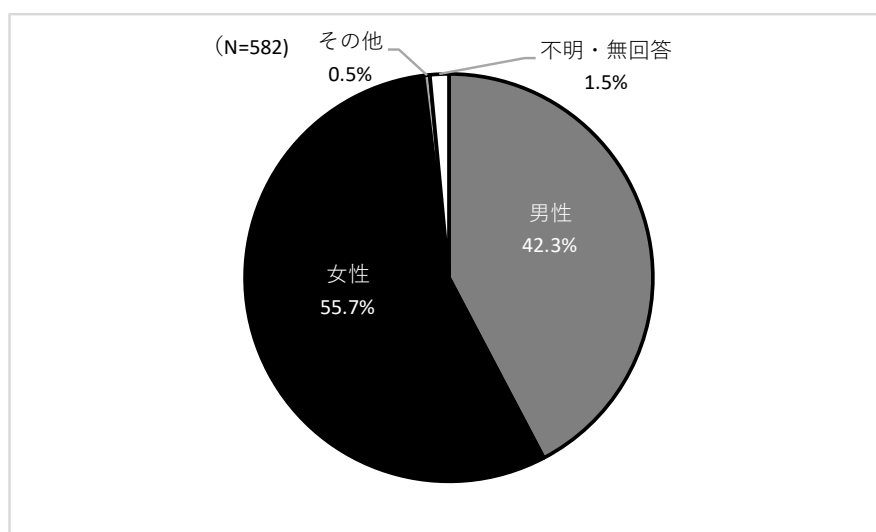
2. 調査の概要

①調査地域	栗東市内全域
②調査対象	市内在住の20歳以上の方、2,000名
③抽出方法	住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出
④調査方法	調査票による郵送調査・郵送回収
⑤調査期間	令和元年12月11日（水）から12月25（水）まで
⑥回収結果	配布数：2,000／有効回収数：582／有効回収率：29.1％

3. 回答者の属性 ※設問の後の（S A）は単数回答、（M A）は複数回答を表します。

問1 性別。（S A）

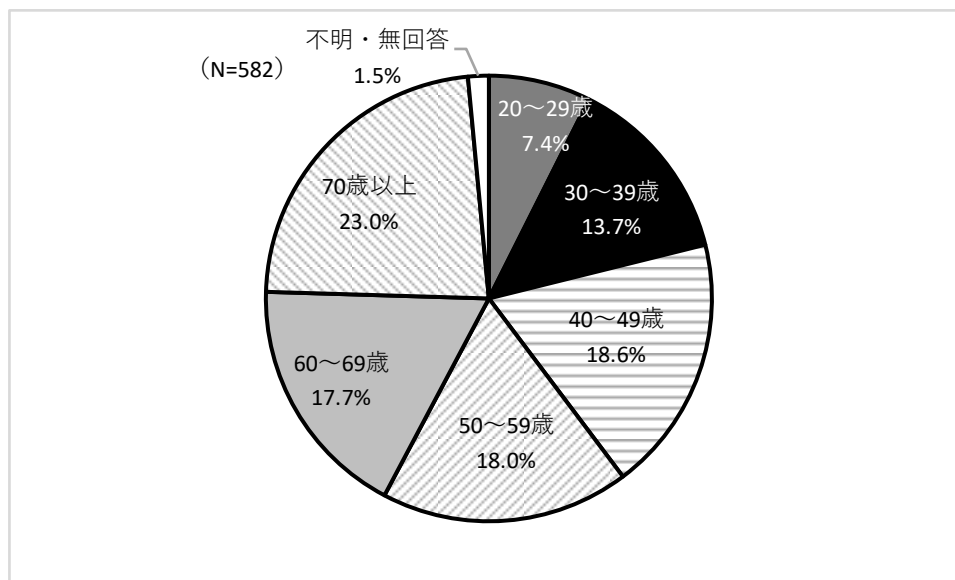
「男性」が42.3%、「女性」が55.7%、「3（その他）」が0.5%となっています。



※LGBTの人などに配慮して、選択肢に「1 男性」「2 女性」に加え、「3」を設けています。

問2 年齢。(S A)

「70歳以上」が23.0%と最も多く、次いで「40～49歳」が18.6%、「50～59歳」が18.0%となっています。



問3 居住地域 (小学校区別)。(S A)

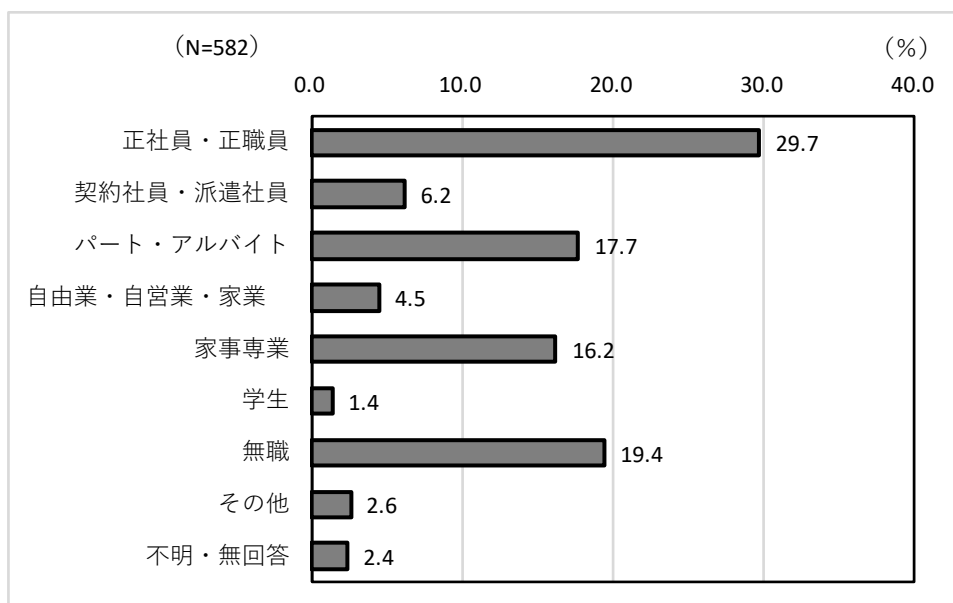
「治田西」と「大宝」が14.3%と最も多く、次いで「治田」が12.5%、「金勝」が11.7%となっています。

(N=582)

校区	回答者数 (人)	割合 (%)
金勝小学校区	68	11.7
葉山小学校区	62	10.7
葉山東小学校区	64	11.0
治田小学校区	73	12.5
治田東小学校区	53	9.1
治田西小学校区	83	14.3
大宝小学校区	83	14.3
大宝東小学校区	37	6.4
大宝西小学校区	47	8.1
学区が不明	0	0.0
不明・無回答	12	2.1

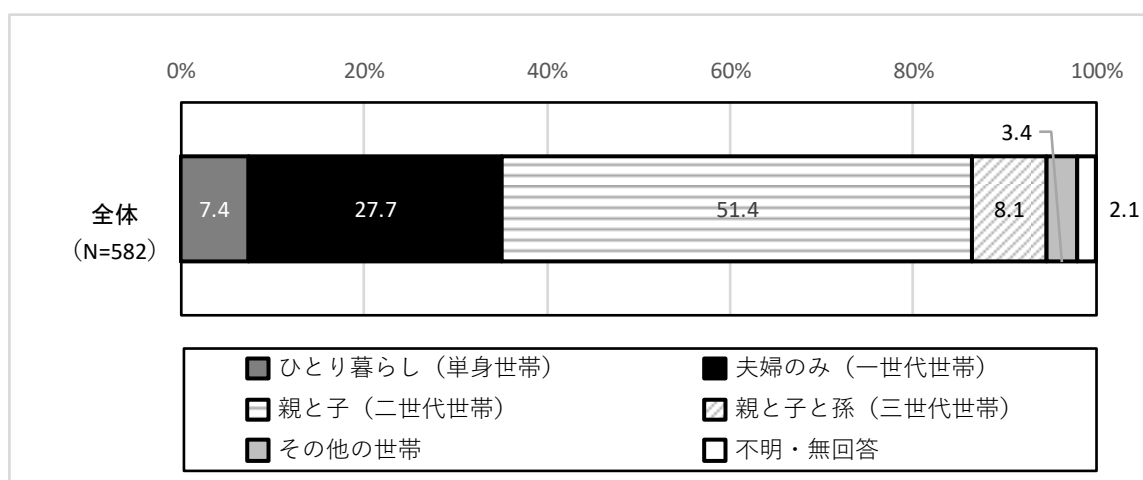
問4 職業。(S A)

「正社員・正職員」が29.7%と最も多く、次いで「無職」が19.4%、「パート・アルバイト」が17.7%となっています。



問5 家族構成。(S A)

「親と子（二世代世帯）」が51.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ（一世代世帯）」が27.7%、「親と子と孫（三世代世帯）」が8.1%となっています。



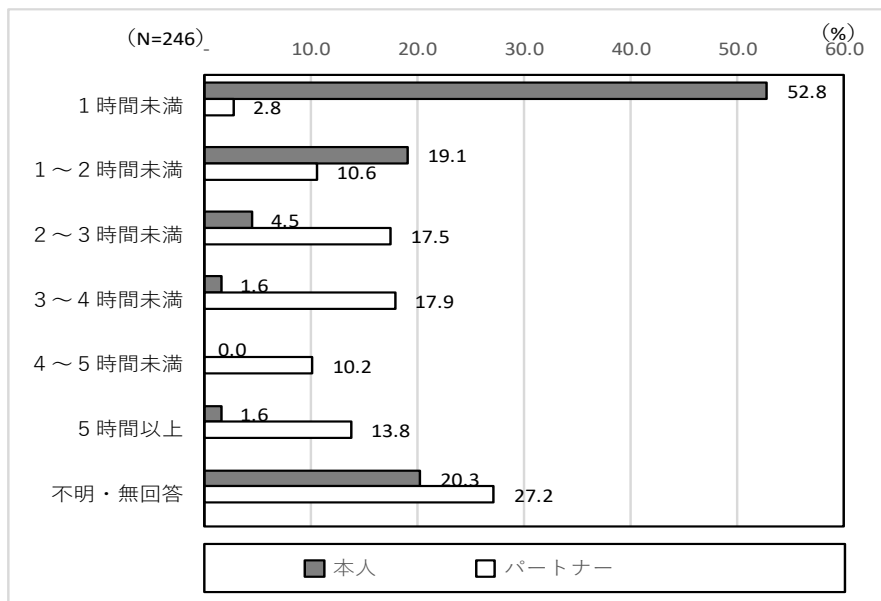
4. 主な項目の結果

問6 家事にかかる時間（1日平均時間）。（SA）

【男性】

本人では、「1時間未満」が52.8%と半数を超えて最も多く、次いで「1～2時間未満」が19.1%、「2～3時間未満」が4.5%となっています。

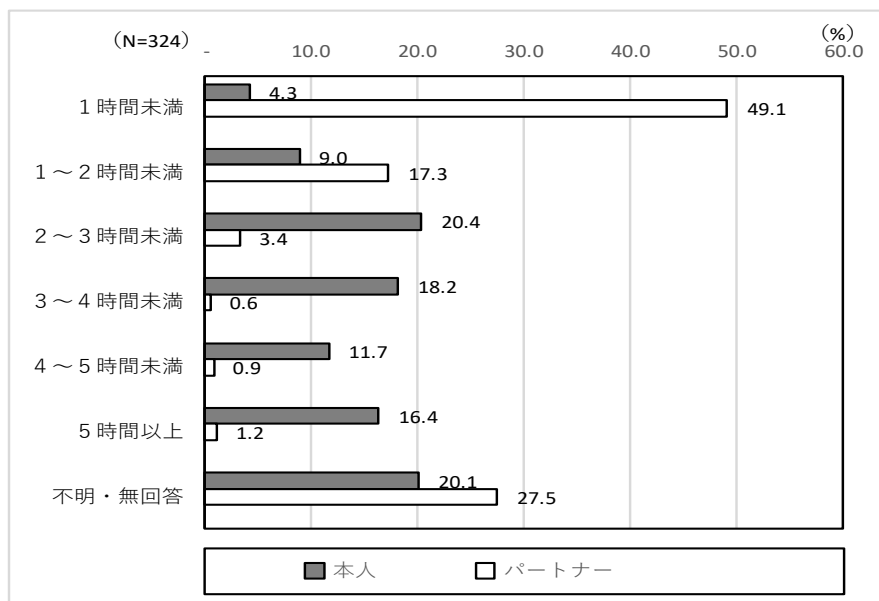
パートナーでは、「3～4時間未満」が17.9%と最も多く、次いで「2～3時間未満」が17.5%、「5時間以上」が13.8%となっています。



【女性】

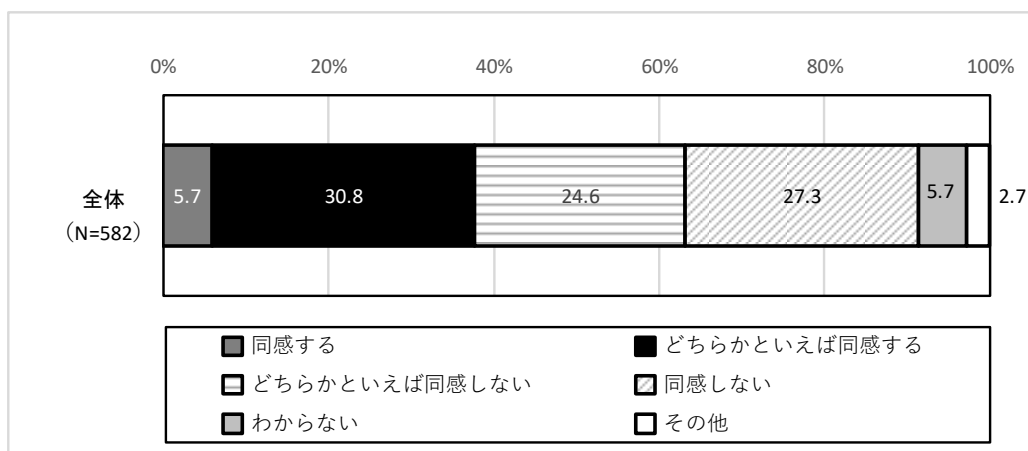
本人では、「2～3時間未満」が20.4%と最も多く、次いで「3～4時間未満」が18.2%、「5時間以上」が16.4%となっています。

パートナーでは、「1時間未満」が49.1%と最も多く、次いで、「1～2時間未満」が17.3%、「2～3時間未満」が3.4%となっています。



問 11 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、どう思うか。(S A)

「どちらかといえば同感する」が30.8%と最も多く、次いで「同感しない」が27.3%、「どちらかといえば同感しない」が24.6%となっています。



肯定的意見	「同感する」と「どちらかといえば同感する」の合計	36.5%
否定的意見	「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計	51.9%

【男性】

	(%)	
同感する	8.5	肯定的意見 41.8%
どちらかといえば同感する	33.3	
どちらかといえば同感しない	19.1	否定的意見 43.9%
同感しない	24.8	
わからない	6.5	
その他	4.5	
不明・無回答	3.3	

【女性】

	(%)	
同感する	3.1	肯定的意見 31.2%
どちらかといえば同感する	28.1	
どちらかといえば同感しない	29.6	否定的意見 58.6%
同感しない	29.0	
わからない	5.2	
その他	1.5	
不明・無回答	3.4	

問 14 結婚についての次（①～⑥）のような考え方をどう思うか。（S A）

【「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」について】

「賛成」が 42.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が 25.6%、「どちらかといえば反対」が 18.0 となっています。

【「②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」について】

「賛成」が 36.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が 22.0%、「どちらかといえば反対」が 20.8%となっています。

【「③男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」について】

「どちらかといえば賛成」が 50.7%と最も多く、次いで「賛成」が 19.1%となっています。

【「④女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」について】

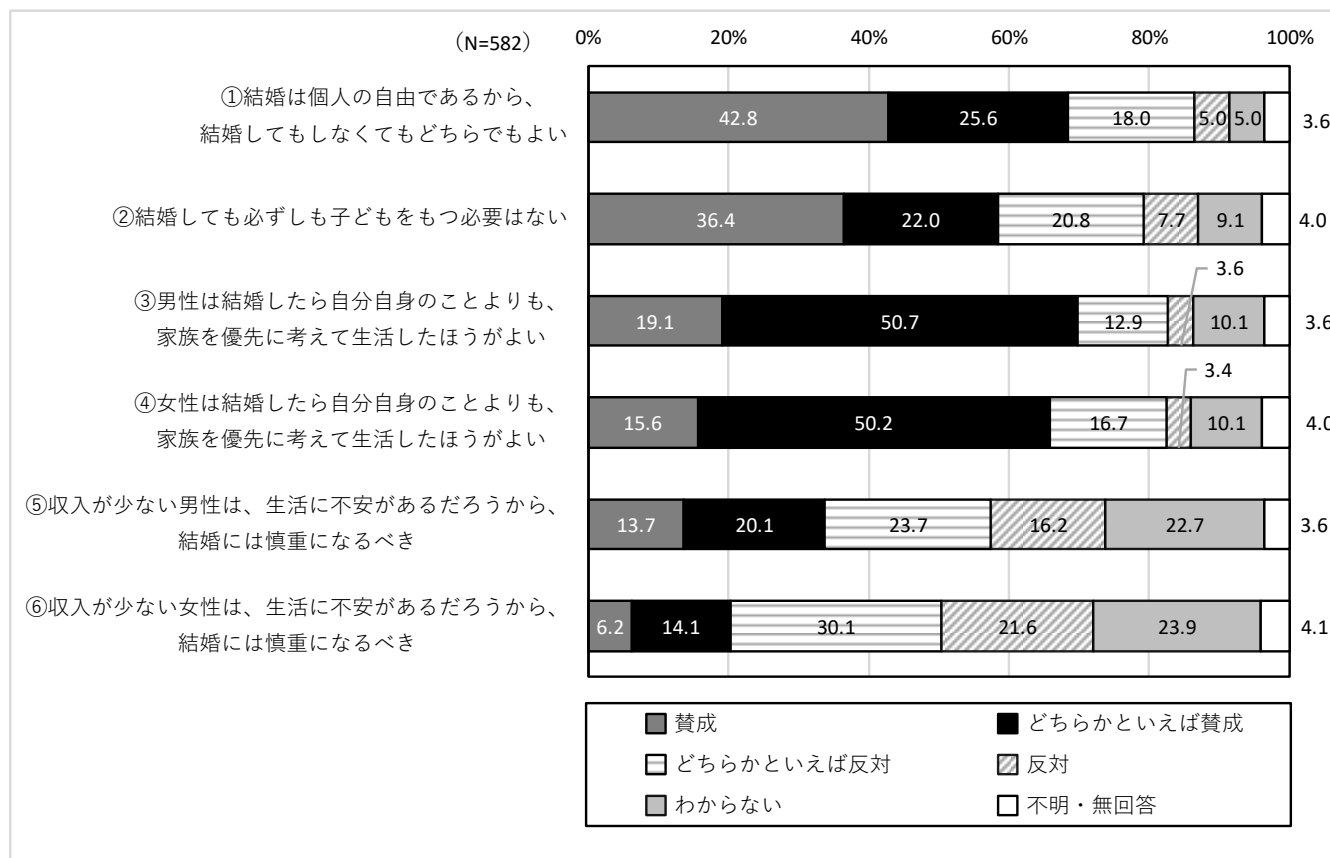
「どちらかといえば賛成」が 50.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が 16.7%、「賛成」が 15.6%となっています。

【「⑤収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」について】

「どちらかといえば反対」が 23.7%と最も多く、次いで「わからない」が 22.7%、「どちらかといえば賛成」が 20.1%となっています。

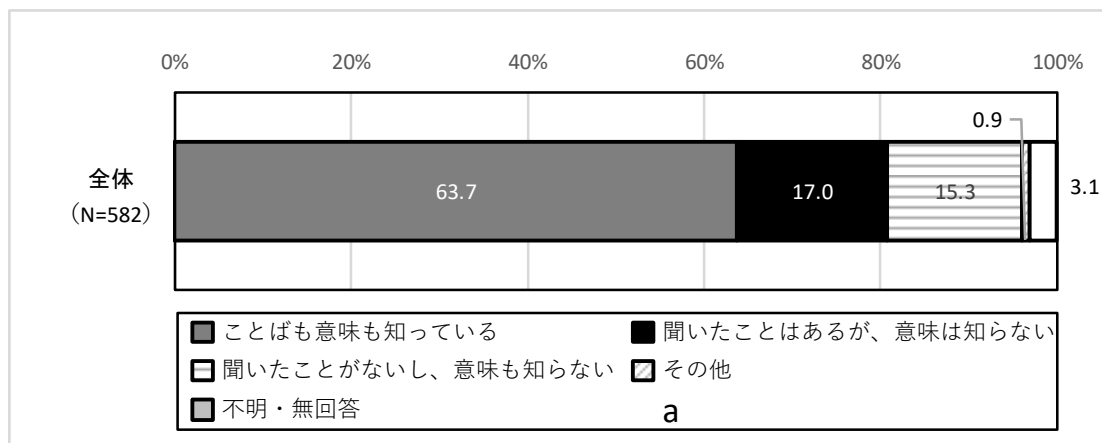
【「⑥収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」について】

「どちらかといえば反対」が 30.1%と最も多く、次いで「わからない」が 23.9%、「反対」が 21.6%となっています。



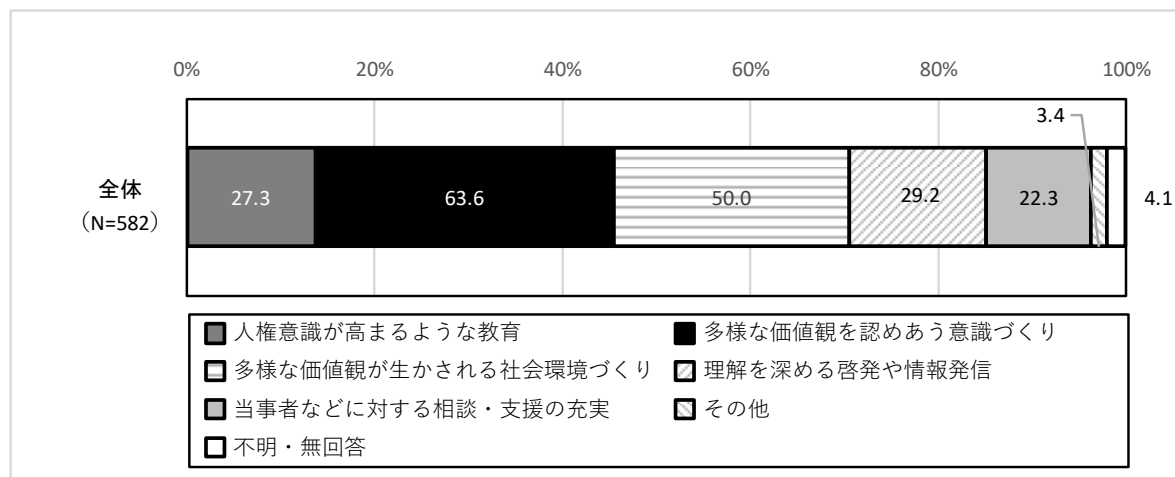
問 15 L G B T ということばを知っているか。(S A)

「ことばも意味も知っている」が 63.7 と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、意味は知らない」が 17.0%、「聞いたことがないし、意味も知らない」が 15.3%となっています。



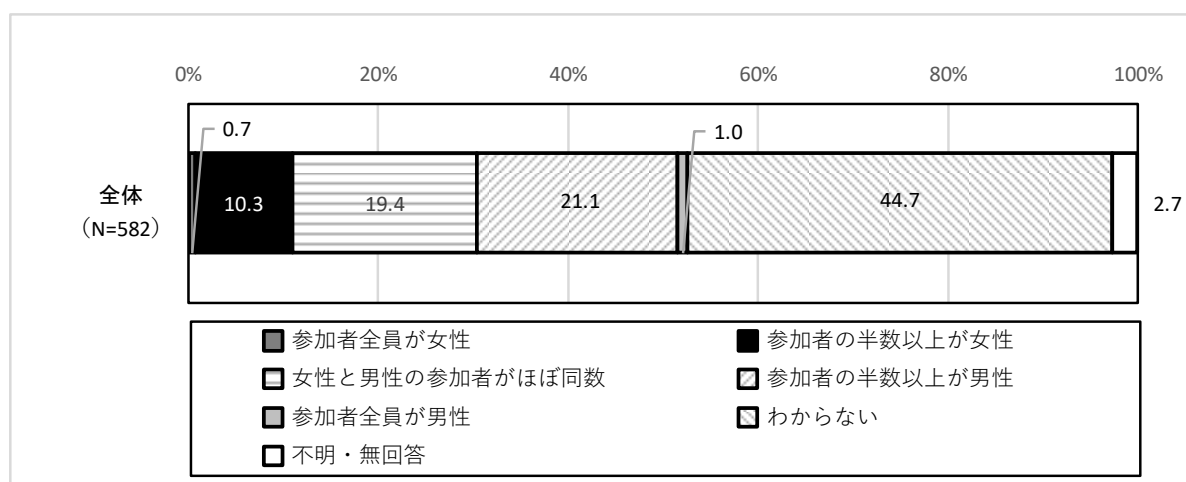
問 16 L G B T などの人が住みやすい社会にするためには、なにが必要だと思うか。(M A)

「多様な価値観を認めあう意識づくり」が 63.6% と最も多く、次いで「多様な価値観が活かされる社会環境づくり」が 50.0%、「理解を深める啓発や情報発信」が 29.2%となっています。



問 18 地域や自主防災組織などで防災について話しあい、決定する時、女性はどの程度参加しているか。(S A)

「わからない」が44.7%と最も多く、次いで「参加者の半数以上が男性」が21.1%、「女性と男性の参加者がほぼ同数」が19.4%となっています。



問 19 男女共同参画の観点から、災害の備えで特に重要だと思うのはどれか。(M A)

「防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する」が49.5%と最も多く、次いで「女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する」が48.8%、「自主防災組織など地域で災害について話しあう時、女性など多様な人が参加して決定する」が36.1%となっています。

